

日・尼・越 3カ国中間報告ワークショップの開催について



企画部 国際研究推進室 室長 曾根 真理 主任研究官 渡辺 春彦 研究官 松下 智祥

(キーワード) 技術基準、海外展開、研究連携活動、インドネシア、ベトナム

3.

成長力・国際競争力の強化

1. はじめに

国土技術政策総合研究所（以下、「国総研」という。）は、インドネシア公共事業省道路研究所（以下、「IRE」という。）と平成21(2009)年11月に、ベトナム交通省交通科学技術研究所（以下、「ITST」という。）と平成22(2010)年5月に、研究連携に関する覚書を締結し、それぞれと特定した研究連携プロジェクトのロードマップにもとづいて共同研究を進めている。

2. 3カ国中間報告ワークショップの開催

平成24年(2012年)6月25日～29日に、国総研・IRE・ITSTの3機関の主催で、「3カ国中間報告ワークショップ（以下、「中間報告WS」という。）」をつくば等において開催した。



写真1 参加者集合写真

中間報告WSでは、これまでの研究連携活動について、研究実務者が共同で活動状況及び成果について中間報告を行う場とし、3カ国間での情報共有を図るとともに、今後の更なる展開に向けた議論を行う目的で開催された。

参加者は、日本側から国総研研究者の他、（独）土木研究所、関連民間技術者等が参加し、インドネシア側から7名の研究者と政府関係者、ベトナム側から5名の研究者が参加した。

中間報告WSでは、西川国総研所長（当時）による開催挨拶の後、分野別セッション（二輪車交通ガイドライン、交通量計測、地域材・高度舗装、橋梁、暴露試験・耐久性評価）において、国総研、（独）土木研究所及びIRE、ITSTの研究実務者が研究ロードマップの進捗状況について共同で報告するとともに、今後の具体の研究方針と計画について議論した。

また、WSの開催にあわせて、研究内容に関連する施設見学（寒地土木研究所実験施設等）も行われ、参加者が日本の有する土木技術等について理解を深める契機となった。



写真2 ワークショップ及び施設見学風景

3. おわりに

国総研は引き続き、技術基準等のソフトインフラの海外展開を見据えた国際活動や調査研究を進めていくこととしている。また、共同研究からJICAプロジェクト等への展開など、共同研究成果のアジア諸国への普及にも注力しているところである。

【参考】

国総研HP（国際活動について）

<http://www.nilim.go.jp/lab/beg/foreign/kokusai/kousaitekikatudou.htm>